

## 各問題の着眼点

「たわみ」

### 1 シリーズ

16021, 17021, 30021, 23021, 25021

12 個の基本公式（7 つのたわみと 5 つの回転角）を用いて計算できる問題です。まずは、この基本公式を問題用紙に復元できるようになりましょう！

21021, 28021, 26021, 01021, 04021, 29021

12 個の基本公式（7 つのたわみと 5 つの回転角）を用いて計算できる問題です。縦長、横長、上下・左右に重なっている部材の断面二次モーメントを正しく計算できるかがポイントとなります。

02021

12 個の基本公式（7 つのたわみと 5 つの回転角）を用いて計算できる問題です。

格子梁と言って、直交している 2 つの部材の中央が接合されているので、2 本の短い梁と長い梁の中央部の変形量（たわみ）は等しくなることに気づけるかがポイントとなります。

### 2 シリーズ

22021, 18031

12 個の基本公式（7 つのたわみと 5 つの回転角）を用いて計算できる問題ですが、基本公式を直接使って計算終了とはなりません。架構全体の変形を考慮する必要があります。1 シリーズの応用問題に当たります。

19021, 27021（特別講義（応用問題）で説明します）

12 個の基本公式（7 つのたわみと 5 つの回転角）を用いて計算できる問題ですが、基本公式を直接使って計算終了とはなりません。架構全体の変形を考慮する必要があります。不静定構造物を解くこととなります。

問題文中にヒントとなるような書き込みがありますので、そのヒントを上手に利用する必要がある難しい問題です。計算問題が苦手な人は、後回しにしても大丈夫な問題です。

### 3 シリーズ

15041, 16031, 02031, 23031, 26061

水平荷重が左右の柱に何対何に分担されるかという問題です。剛な梁で繋がっているため、左右の柱の柱頭部分の水平変位が等しくなることがポイントです。柱脚がピン支点の場合と固定端の場合で、柱頭部の水平変位が異なることに注意しましょう。